

科目名	日本史特講					単位	2.0
担当教員	小久保 嘉紀						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	3316

●授業のテーマ

日本史の教育と研究

●到達目標

この授業を通して、日本史の授業をする際の技術や予備知識の獲得はもちろん、「なぜ日本史を教えるのか」という問いに対して自分ならではの答えを確立できるようにしたい。

●学習内容(授業概要)

この授業では、将来、自分自身が日本史の授業をする際に役立つよう、近年の日本史学の新視点を紹介し、また人物史や地域史を授業であつかう際の方法論について講義する。また、現代まで至る日本史教育の歴史についても概観し、日本史教育の意義についても考える。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. オリエンテーション
2. 授業での史料のあつかい方
3. 日本史の新視点①—古代—
4. 日本史の新視点②—中世—
5. 日本史の新視点③—近世—
6. 日本史の新視点④—近・現代—
7. 人物史について①—織田信長—
8. 人物史について②—豊臣秀吉—
9. 人物史について③—徳川家康—
10. 地域史について
11. 日本史教育の歴史①
12. 日本史教育の歴史②
13. 歴史教科書問題をめぐって
14. 戦後の日本史教育と現代の課題
15. 授業のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

参考文献であげた本を読んでみる。

●成績評価方法・基準

筆記試験 (70%) + 平常点 (30%)

●テキスト (必携)

とくになし。授業中にプリントを配布する。

●参考文献／その他

- ・安田元久監修『歴史教育と歴史学』（山川出版社、1991年）
- ・青木美智男・木村茂光編『教員になる人のための日本史』（新人物往来社、1998年）
- ・山田朗編『岩波ブックレット No. 712 歴史教育と歴史研究をつなぐ』（岩波書店、2007年）

●履修上の注意

日本史の教員を目指す人向けの授業。